

一 國際労働會議否認の件

(城東第二支部提出)

一 國際労働會議は帝國主義者ナリスを首班とする世界各國の資本家階級の

國際的機關は國際労働會議の一部を爲すもので労働協同機關である。

二 此の國際労働會議は現在参加するものはブルジョア代表並にブルジョア政府代

表及世界各國に於て労働者階級の利益を代表するものを経験するもの

幹である。そして今と國際労働會議の利益に依りて我々は利益を要求す

る事は無い。此處に我々が要求せねばならぬのは此政府代表である。

採取 被採取の階級對立の社會に於て政府を構成するものは一體階

級であるが、論ずる通りなく経済的優越地位を占むる階級即ち資本家

階級の政府が尖鋭化せる階級對立の外に起然中間的立場に立ち如く資本

階級として見せしめようとするは出来ぬ。

三 此會議が正當に行はれたとしても(資本家一労働者一政府一)の

合では行いか之を以て如何にして我々の利益を反映せしめようかと

三役に労働階級の要求を議案に決定したとしても之を國際的

日資本家階級の政府権限による決議の決議例とならぬは

利なきものではないか

四、それどころではない日本ブルジョア階級は此會議を利用して右翼から

幹を吸収し労働大家を分資協同の魔酔劑を以て深き眼におとし入れ

んとしつつある。

五、如斯く國際労働會議は資本家階級の階級にとつては労働大家を欺瞞

せしめ見出すものである。

六、かくる國際労働會議は労働者階級として當然否認すべきものである。

実行方法

一 本大會に於て否認の決議をなし我が日本紡織労働組合の名を以て各労働

組合に聲明書を出すこと。

(説明者 佐藤助治)

(本部提出)

(本部提出)

理由

一 資本主義経済組織の形態は打崩し、其安定を恢復せんがため、資本家階級は所

謂産業の合理化に専らしてあり、而して資本家階級の産業の合理化とは、機

械の最大限の使用、新設備の採用、技術の改善による生産過程の合理